



明けましておめでとうございます。今年も図書館を活用して読書に親しんでください。感動する本、笑える本、自分を励ましてくれる本…たくさんのお本との出会いが皆さんの心を豊かにしてくれるでしょう。

佐賀県立図書館の本の中から、高校生におすすめの本を紹介します。

新しく入った本



「こちら文学少女になります」
小嶋 陽太郎/著
文藝春秋/発行
資料コード 115681041

文学が大好きな新人編集者の友梨が配属されたのは青年漫画誌の編集部。先行き不安な日々の中、見えるはずのない、あるものが見えるようになり…。漫画編集部をコミカルに描いた作品です。



「森ではたらく！」
古山 大輔・山崎 亮/編著
学芸出版社/発行
資料コード 115681215

林業家や森林セラピスト、山林経営者、家具職人など、森で働く人々を紹介しています。みなさん森が大好きで、仕事に対する熱い想いを語っています。自然の中で働きたいという方、ぜひ読んでみてください。



「ルイ・ブライユ 点字をつかった人びと」
高橋 昌巳/監修
こどもくらぶ/編
岩崎書店/発行
資料コード 120833629

現在主流の点字は 1824 年に 15 歳のパリの盲学校の生徒、ルイ・ブライユが考え出しました。彼の伝記や、日本の点字をつかった石川倉次について等をカラーで分かりやすく解説しています。



「デトロイト美術館の奇跡」
原田 マハ/著
新潮社/発行
資料コード 115681132

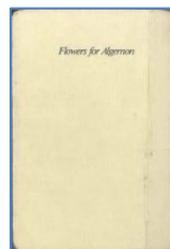
素晴らしい芸術作品をコレクションしているデトロイト美術館は、市の財政難により存続の危機にさらされます。スタッフや美術館を誇りに思う市民が、作品を守るために立ち上がります。アメリカでの実話をもとにした、奇跡の物語。

読んでみよう

世界の名作文学



一度は読んでみたい世界の名作文学を紹介します。何を読んでいいかわからない方、まずは名作からチャレンジしてみませんか？



「アルジャーノンに花束を」

ダニエル・ケイス/著、小尾 美佐/訳、早川書房/発行、資料コード 110492238

知能指数の低いチャーリィは、手術を受けて天才になります。同じ手術をしたネズミのアルジャーノンも、高い知能を手に入れますが、やがてその知能は衰えていきます。アルジャーノンを見て自分の行く末を知ることになったチャーリィは…。感動すること間違いなしの1冊。



「そして誰もいなくなった」

アガサ・クリスティー/著、青木 久恵/訳、早川書房/発行、資料コード 120499165

ミステリーの女王と呼ばれたアガサ・クリスティーの代表作。十人の男女が正体不明の何者かに小さな島に招かれ、そこで次々に殺人が起こります。犯人は誰なのか？意外な結末に驚かされる作品です。



「誰がために鐘はなる」(世界文学全集23巻 ヘミングウェイ)

河出書房/発行、資料コード 111012597

スペイン内戦のさなか、ロバートは鉄橋爆破の密命を受けて戦地に赴きます。そこでゲリラ隊にかくまわれているマリアと恋に落ちます。二人の仲は深まっていますが、命がけの任務の日は刻一刻とせまり…。無事任務を遂行することができるのか、恋の行方はどうなるのか、最後まで目が離せない展開です。



「十五少年漂流記」

ジュール・ヴェルヌ/著、椎名 誠・渡辺 葉/訳、新潮社/発行、資料コード 115331258

15人の少年を乗せた船が、無人島に漂着しました。大人がいない、家も食料もない場所で、少年たちが力を合わせて生きていく冒険ストーリーです。どきどき、わくわく感を味わいたい方におすすめですよ。

■編集■ 佐賀県立図書館 企画課 図書館ネットワーク担当 (0952-24-2900)

◎この通信は HP にも掲載しています。蔵書検索もできます。

☞<http://www.tosyo-saga.jp/kentosyo/>

問い合わせはこちらまで

